



教育目標 共に学び合い、健やかに生きる児童の育成

研究主題 少人数で主体的に学び合うための授業の工夫 ~進んで考え、表現する力をつけるために~

越前町の教育目標

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現

朝日地区小中連携目標

- 子どもの育ちをつなげよう
- コミュニケーション能力
- 自分で善悪を判断する力
- 自他を大切にすること

新しい自分へ  
チェンジ! チャレンジ

目指す児童像

- 深く考える子
- 思いやりのある子
- がんばりぬく子

保護者・教師の願い

- ・知的好奇心をもち、考えを表現できる子
- ・お互いの良さを認め合える子
- ・生命の大切さを知り、粘り強く取り組む子

児童の実態

- ・明るく素直で、まじめに取り組む。
- ・仲がよく、協力して活動する。
- ・自己表現がやや苦手である。

中期重点事項・本年度目標

\*楽しむ学び

- ◎主体的に学ぶ授業づくりの工夫
- ◎考えを表現する力の育成

- ・学習が楽しい、学習が分かると答える児童が80%以上
- ・自分の考えや思いを進んで話していると答える児童が80%以上

\*豊かな心

- ◎認め合う仲間づくり
- ◎校内、校外の色々な「もの・ひと・こと」と関わりながら協働する活動づくり

- ・学校が楽しいと答える児童が90%以上
- ・みんな、あるいは校外の色々な人と一緒に活動するのが楽しいと答える児童が90%以上
- ・誰にでもしっかり挨拶・返事ができたと答える児童が90%以上

\*たくましい心身

- ◎めあてをもち継続したチャレンジ
- ◎基本的な生活習慣づくり

- ・自分のチャレンジ目標に継続して取り組んだと答える児童が80%以上
- ・「我が家のスマートルール」「我が家の早寝・早起き・朝ご飯」を守ったと答える児童、保護者が80%以上

具体的方策

- ①児童に「学びのゴール」や「学びの見通し」をもたせる。
- ②児童が興味・関心を高める課題を設定し、児童同士が考え合い、解決する授業づくりを工夫する。
- ③自分の考えや思いを表現したり、学習したことを表現したりする場を設定する。
- ④ICT機器の効果的な活用を図る。

- ①あいさつ・返事名人の心得を示し、場に応じた行動ができるようにする。
- ②学級で、週1回以上いいこと発表の時間を持ち、月1回の思いやり集会で発表できるよう促す。
- ③ポジティブ教育を推進する。
- ④地域学習、SS連携など色々な人と交流する場を効果的に活用する。

- ①一輪車、なわとび、竹馬、50m走等の目標を設定し、カードを活用しながら、意欲をもたせて活動させる。
- ②保健指導や委員会活動を通して、基本的な生活習慣の大切さを呼びかけるとともに、家庭との連携を図る。
- ③我が家のスマートルールを親子で考え、実践について定期的に家庭・学校で確認し、啓発を続ける。

業務改善

- \*ICTを活用した校務の迅速化
- \*会議や研修などの開始・終了時刻の明示と実行
- \*最終退庁時刻の設定(19時)